

第59回「満月クラブ」写真展 鋭さが増した雨野さん（電気34年）力作3点

昨日（5月18日）「満月クラブ」へ坂本前会長、吉田副会長、山崎さんと4人で行き、猛暑を吹き飛ばす素晴らしい作品に出合ってきました。「満月クラブ」は春秋年2回、雨野さん中心に仲間が作品展を開催されています。

会場は毎回同じ、埼玉県霞ヶ関（東上線霞ヶ関駅から歩いて12分ほど）の川越西文化会館です。小ホール(347席)は音響の良さに定評があります。その他、会議室・創作室・研修室等があり、年間を通じコンサート・講座・展示会などの主催事業を開

催。無料ロビーコンサートも開催されており、川越市民の文化の砦です。

写真展は、開館入ってロビーを広く使っています。今回から展示レイアウトを大きく変更し、照明に合わせてパテーションを設置し、明るく広くのびのびした展示になっていました。展示にウルサイ、坂本大先輩も大絶賛でした。確かに私にも今までと違って、展示作品が明るく光って観えました。



見学が終わって食事に行く途中、東京国際大学の前を通ったら学生が大勢おり、他にも有名大学が多い学生の街の一面を持っていました。

「満月クラブ」会員には、多くのこだわりもった写真家があり、今回も15人の方が力作を発表しておりました。雨野さんは現役時代からボーナスをカメラにつぎ込んだ芸術家。今の悩みは10年経った愛用の



力作 左「春の陽」 右「山里の宝石箱」の前で雨野さん

カメラの部品が無くなって、手入れに苦労しているそうです。カメラと車大好きな雨野さんは歳を感じさせないロマンの人でした。

帰りは吉田さん、山崎さんと3人で川越散策、お土産を買って、コロナ禍を吹き飛ばす、有意義な1日でした。

(顧問 駒米隆)



左端 雨野さん力作「春に向かって」の前で
左から電気 s31 坂本さん、電気 s34 雨野さん、工化 s35 山崎さん、電気 s39 吉田さん、電気 s36 駒米



雨野さん力作 左「春の陽」右「山里の宝石箱」の前で